季節指数利用上の注意

(製造工業生産予測指数)

2020年4月30日

(1) 手法

製造工業生産予測指数における季節調整済指数系列は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因によっても調整されている具体的には以下のとおり。

季節調整済指数 = 原指数 ÷(季節·曜日·祝祭日)

(2) スペックファイル

使用しているスペックファイルの見本は以下のとおり。

```
series { start = 2012.1
       span = (2012.1, 2019.12)
       decimals = 1 }
transform { function = log }
arima \{ \text{model} = (1 \ 1 \ 0)(0 \ 1 \ 1) \}
regression { variables = (td1nolpyear)
            save = (td hol)
            user = (jap-hol)
            usertype = holiday
            start = 2012.1
            forecast { maxlead = 12 }
estimate { save = ( mdl )
         maxiter = 500 }
x11 \{ print = (none + d10 + d11 + d16) \}
      save = (d10 d11 d16)
      seasonalma=x11default }
```

(3) 季節指数等の運用

2020年1月以降の季節指数は、暫定季節調整方式を採用している。

具体的には、2019 年の季節要因と、上記(2)で推計されたパラメータとカレンダーから計算した曜日・祝祭日要因から、季節指数を作成、利用している。

(4) 異常値処理

2019年年間補正において、異常値は検出されませんでした。

(5) 祝祭日変数の扱いについて

X-12-ARIMA における祝日の扱い((2)のスペックファイルの記述で file="XXXX*・・"の部分)については、以下のとおり。

季節指数計算の対象年月(8年間)について、各年におけるそれぞれの月における平日(月曜日から金曜日)が祝日になる日数(A)を数え、次に1月から12月それぞれにおける8年間の祝日の平均値(B)を求めた後、各年におけるそれぞれの月の祝日日数(A)から平均値(B)を差し引いた値をX-12-ARIMAに与えている。

2019 年年間補正で使用した内容は、以下のとおり。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2012年	0.000	-0.750	0.125	0.000	-0.625	0.000	0.000	-0.375	-0.875	-0.125	-0.500	0.250
2013年	0.000	0.250	0.125	0.000	-0.625	0.000	0.000	-0.375	0.125	-0.125	-0.500	0.250
2014年	0.000	0.250	0.125	0.000	-0.625	0.000	0.000	-0.375	0.125	-0.125	0.500	0.250
2015年	0.000	0.250	-0.875	0.000	0.375	0.000	0.000	-0.375	1.125	-0.125	0.500	0.250
2016年	0.000	0.250	0.125	0.000	0.375	0.000	0.000	0.625	0.125	-0.125	0.500	0.250
2017年	0.000	-0.750	0.125	-1.000	0.375	0.000	0.000	0.625	-0.875	-0.125	0.500	-0.750
2018年	0.000	0.250	0.125	0.000	-0.625	0.000	0.000	-0.375	0.125	-0.125	-0.500	0.250
2019年	0.000	0.250	0.125	1.000	1.375	0.000	0.000	0.625	0.125	0.875	-0.500	-0.750
2020年 (暫定期間)	0.000	1.250	0.125	0.000	0.375	0.000	1.000	0.625	0.125	-1.125	0.500	-0.750
2021年(暫定期間)	0.000	1.250	-0.875	0.000	0.375	0.000	0.000	0.625	0.125	-0.125	0.500	-0.750